

IPO銘柄 ハンワホーム (275A・名ネクスト)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
275A	100株	公募：38.00万株 売出：0.00万株（OA5.70万株）	250円～270円 (7.1倍)	フィリップ証券

■日程



屋外空間の価値をデザインする地方発の総合建設・EC企業

■事業内容

建設業とEC（電子商取引）を中心とした小売・卸売業を行う。建設の空間創造事業では、一般戸建から公共施設まで幅広い空間を対象に、外構設計・施工を行う。整地・擁壁・排水などの造成工事、給排水・電気・ガスなどのライフライン配管といった土地造成・インフラ整備から、一般戸建の外構工事や商業施設の屋外演出・整備、公園・広場整備工事まで幅広く手掛けている。DEPOS事業は屋外家具・資材のブランド事業で、国内外のメーカーと直接取引を行い、高品質でデザイン性に優れた屋外家具を個人顧客、飲食施設・商業空間といった法人顧客の双方に提供する。26年2月期2Q実績の売上高構成比は空間創造事業が64.7%、DEPOS事業が35.3%。

■特徴

造成工事やインフラ整備、住宅の門柱・カーポート、商業施設の動線設計、公共空間案件まで、まち全体の屋外空間を一貫して整備できる体制を構築していることが強み。工程ごとに分断されがちなコスト・品質・デザインを統合的に最適化し、効率性と付加価値を同時に実現している。

アナリストコメント

■定量分析

26年2月期の非連結経常利益は前期比6.6倍の1億1,300万円を計画する。空間創造事業は法人施設案件を獲得したことで好調に推移。DEPOS事業も法人顧客向け大型案件の受注が増加している。

■定性分析

地方市場に上場する地方企業で、業種もIPOで人気化しにくい建設業。法人顧客向けビジネスの拡大で住宅着工戸数などに影響を受けにくい収益体質を構築することはポジティブな評価を得られそうだ。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は1億円。地方市場に上場する銘柄としても軽量感が強く、需給妙味がありそうだ。既存株のほとんどを経営陣が保有しているため、公開株式以外の株券が市場に流出するリスクも少ない。

（小泉 健太）

■類似企業

ハンワホーム (275A・名ネクスト)

予想PER 7.1倍
(仮条件上限)

ニッソウ(1444・グロース)

予想PER 30.4倍

徳倉建設(1892・名メイン)

予想PER 7.8倍

■引受証券

フィリップ証券、松井証券、SBI証券、マネックス証券、楽天証券、東洋証券、東海東京証券、広田証券、Jトラストグループ証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常損益 (百万円)	前年比 (%)	最終損益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
24年2月期(実績)	1,626	▲14.7	-73	赤転	-49	赤転	-24.9	0.00
25年2月期(実績)	1,865	14.7	17	黒転	12	黒転	6.1	0.00
26年2月期(会社予想)	2,286	22.5	113	6.6倍	75	6.2倍	37.9	—

※24年7月および25年6月に株式分割（1株→1,000株、1株→10株）を実施。24年2月期および25年2月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
24年2月期	200	823	41	30	20.7	5.0	—
25年2月期	200,000	884	53	30	26.7	6.0	25.7

※24年2月期および25年2月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 鶴 厚志	1,339,000	66.95
2 鶴 結介	660,000	33.00
3 帝燃産業(株)	1,000	0.05

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	鶴 厚志
専務取締役 空間創造 事業部部長	鶴 結介
取締役 DEPOS事業部 部長	東家 啓介
取締役	稻川 勝幸
取締役	辻 泰崇
取締役(監査等委員)	飯野 房子
取締役(監査等委員)	松本 正則
取締役(監査等委員)	塚本 晃浩

ウエルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特徴

ウエルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウエルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウエルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウエルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなど交えて分かり易くお伝えいたします。

■定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができるところから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト (http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html) をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会